

第2次世界大戦の数々の事... 援護の記録(岩手県戦後処... 1972年・奥発... 座談会は、多数の犠牲を出... 例えは、本県出身者が多く... 戦死したニューギニアのある... 部隊について。「師団で生き... 残った人はわずか百数十名、... 戦死した人が三千数百名です... よ、マリヤだの栄養失調だ... ので死んだわけです」。別の... 部隊も「ジャングルの中を徒... 歩で歩きながら皆んな死んで

終戦の日

苦難の記憶と向き合う

の中で息絶えた。... ある事実を統計が克明に映... し出す。太平洋戦争開戦の41... 年12月8日以降の「死没者数... (戦後後も含む)は約3万7... 00人。そのうち9割近くを... 44年1月以降が占める。... 歴史学者の吉田裕さんは著

書「アジア・太平洋戦争」の... 中で「戦争終結の決断が遅れ... たことで、どれだけ多くの生... 命が失われたかを、この数字... は示している」と指摘してい... る。... 敗戦の色が濃くなる中、無... 謀と言え作戦で戦場に送り... 込まれた兵士たち。統計数字... の背後にある一人一人の絶... 望。そんな状況を上層部はど... う思っていたのか。... 終結の決断が遅れる中、国... 土は空襲などに見舞われた。... 本県も、釜石の艦砲射撃をは... じめとして戦禍に遭い、多く

の犠牲者を生んだ。... 戦後74年。戦争の生々しい... 記憶を持つ人は少なくなつて... いる。記憶を継承していくた... めに、体験談や記録と向き合... い続けなければならない。苦... 悩や恐怖に対する想像力を働... かせよう。... 悲惨な現場に直面しないこ... とは、戦闘への心理的な垣根... を低くする。しかし、兵器の... 向こうには恐怖におののき、... 絶望の淵に落とされる相手の... 部隊や市民がいる。... 戦争をなくすために。悲惨... な経験を経て平和憲法を持つ... 日本が、世界に発信できるこ... とは多いはずだ。令和という... 新たな時代を迎える終戦の日... に、その思いを強くする。

(2019年8月15日付・岩手日報3面)

オバマ前米大統領が広島... 地を踏んだのは、2016年... 5月だった。「核なき世界へ... 勇氣を」。現職大統領として... 初めて被爆地を訪れたオバマ... 氏は呼び掛けた。... 同じ年、安倍晋三首相も米... ハワイ・真珠湾の地に立つ。... 「和解の刀」を訴え、核兵器... をはじめとする軍縮への期待... を世界に抱かせた。... 「天姿な英断だった。長... 年、日米首脳による「相互敵... 花外交」を提唱してきたジャ... ーナリストの松尾文夫さん... は、実際に踏み切った両首脳... を高く評価している。

核なき世界

時計を逆戻りさせまい

それから、わずか3年、ま... るで冷戦時代へ時計が逆戻り... したかのような動きが目立... つ。核軍縮への期待は急速に... しほみつつまあ。... 冷戦終結を後押しし、核軍... 縮の流れをつくった米口の... 「中距離核戦力(INF)廃... 棄条約」が2日、失効した。... 軍縮に逆行する振る舞いの最... たるものと言え。... 米国は表向き、ロシアの条... 約違反を理由とするが、背景

には中・短距離ミサイルを持... つ国が増えたことへの米口双... 方の不満がある。特に中国へ... の警戒感が強い。... 条約に縛られない中国は、... 米領クアムに届く中距離弾道... ミサイルを配備した。米国も... 対抗する構えで、米中口の激... 戦時、限定的に核兵器を使... 用する指針をまとめたと報じ... られた。オバマ氏は広島訪問... 後、核を先に使わない「先制... 不使用」を検討したが、それ... 上限を超えてウラン濃縮を進... めるイランを巡り緊張が高ま... る。北朝鮮の非核化も大きな... 進展は見られない。... オバマ氏が唱えた「核なき... 世界」は、風前のともしひと... なっている。その中で、きよ... う6日に広島、9日に長崎の

原爆の日を迎える。... 核保有国の動きに、唯一の... 被爆国・日本はどう行動すれ... ばいいのか。政府はINF条... 約失効を受けて新たな核軍縮... の枠組みを求めるが、中国な... どは反発している。... 核廃絶を求める国際世論を... 味方に付け、時計を逆戻りさ... せめ努力が必要だ。日本は、... 国連で採択された核兵器禁止... 条約に署名していないが、署... 名・批准を強く望む被爆者の... 声に耳を傾けてほしい。... 2月に死去した松尾さん... は、ロシアや中国とも「相互... 敵花外交」を説いた。和解と... 戦争の清算こそ、被爆国・日... 本の信頼が増す。その指摘は... 多くの示唆を与えている。

(2019年8月6日付・岩手日報3面)

1. 2016年5月に、オバマ前米大統領が現職大統領として初めて被爆地を訪れました。その都市名を書きなさい。
市

2. 今月2日に失効した「中距離核戦力(IMF)廃棄条約」は、アメリカがどこの国と結んだ条約か、相手国名を書きなさい。

3. 8月6日の論説の傍線部Aについて、日本はどう行動すればいいと考えますか。あなたの考えを簡潔に書きなさい。

4. 今年の8月15日で戦後何年となりますか。あてはまる年数を書きなさい。
戦後 年

5. 8月15日の筆者は、どのような力を働かせつつ、体験談や記録と向き合い続けなければならないと述べていますか。12文字で抜き出して書きなさい。

6. 8月15日の論説を読んで、戦争をなくすために、あなたにできることを書きなさい。